

滝沢村補助金等審議会
会長 齊藤 俊明 殿

滝沢村長 柳 村 典 秀

補助金の公募制度について（諮問）

近年、個人の生活様式の多様化や地域コミュニティの衰退等により住民に身近な課題の複雑・多様化が顕著となり、これに対する行政の対応の限界が指摘されております。一方で NPO や新たな地域コミュニティ、企業や研究機関など、地域や特定分野に精通し、且つ意欲に満ちた民間の新たな担い手の台頭が目立ち始めています。

社会のあり方の変化に合わせ、行政の役割はそれらの団体の支援や連携に変わりつつあり、補助金は、十分な資金を持たない新たな担い手の初動支援策として有効な手段の一つであります。

しかしながら、これまでの補助金制度は補助対象の硬直化や一部で公益性が十分でない事業も見受けられるといった課題も抱えていたことから、本村では、貴職の答申の下、補助対象者の決定過程の透明性を高めると同時に補助事業の改善を促すため公募制度を導入、運用してまいりました。

平成 21 年度には 18 年度の制度本格導入時に採択された事業の継続申請が見込まれており、事業の改善提案を行うにあたり、今年度は大変重要な年であります。つきましては、引き続き貴職の指導・助言による制度の一層の発展を期待し、下記事項について諮問するものであります。

記

- 1．補助金公募制度の在り方について
- 2．平成 20 年度実施補助金公募制度の審査について
- 3．その他補助金等に関する事